

## 第2期行財政改革プログラム 個別取組工程表

所管	文化観光	局	文化	部	文化財	課
項目	4-3	堺市立泉北すえむら資料館および収蔵資料（重要文化財）のあり方				
実施内容	築50年近くが経ち、設備の老朽化により、文化財の保存管理に支障が出る恐れがある。また、維持管理コストの増加や、バリアフリーに対応できないなど構造上の問題もあるため、施設のあり方を含めた効率的な運営や収蔵資料の適切な保存管理方法を検討する。					
目標	館のあり方も含めた効率的な運営や収蔵資料の適切な保存管理方法の検討					
工程	当初予定	26年度	27年度	28年度	29年度	
		<p>泉北すえむら資料館の運営及び整備方針等について庁内検討</p> <p>あわせて収蔵資料(重要文化財)の管理と活用につき庁内での検討をするとともに、文化庁・大阪府と協議する。</p>	<p>資料館の運営及び整備計画を策定する</p> <p>収蔵資料(重要文化財)の管理・活用計画を策定</p>	<p>計画に基づく事業実施</p>		
進捗状況 (実績・見込)		26年度	27年度	28年度	29年度	
		<p>泉北すえむら資料館の運営及び整備方針等について庁内で検討。</p> <p>あわせて収蔵資料(重要文化財)の管理と活用の検討を行った。</p>	<p>泉北すえむら資料館の管理運営方針及び重要文化財の収蔵・管理方法の協議調整等。</p>	<p>27年度の協議決定に伴う事業実施。</p>		
実績	<p>(平成26年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化に伴う修繕等を行い、施設・設備の改善に取り組んだ。</li> <li>「みんなの審査会」の結果を踏まえ、11月よりアンケートを実施。</li> <li>入館者数 9,435人(3月末 前年比2,102人増)</li> <li>11～3月のアンケート結果から約8%の不快感回答・・・展示のマンネリ化、階段の多さ、設備の古さなど。</li> </ul>					
評価	26年度	B	課題	<p>昭和45年竣工の建物は、雨漏りや内壁剥落など全体に著しく老朽している。傾斜地に立地していることから各展示室間の移動はすべて階段になっている。収蔵庫が地下にあって多湿なため、重要文化財の保管に不適合である。本来陶器窯跡群出土品の展示に特化した資料館であったため、展示方法に制約が大きい。</p> <p>資料館としての認知度の拡大が必要である。</p> <p>本市が発掘調査した陶器窯跡群出土須恵器の追加指定にむけ、国・府と協議を行う必要がある。</p>		
			改善策	<p>重要文化財の積極的な公開活用を前提とした適切な保管管理のために、館の移転・改築等も視野に入れた環境改善対策を検討。</p>		
評価基準		A: 目標を上回って達成 B: 目標を概ね達成 C: 未達成				
備考	大阪府の財政再建プログラムにより廃止対象となった資料館を、施設・設備の改修を行ったうえで重要文化財並びにその関連資料と共に引き継ぐことを条件として、平成21年度末に移管を受けた。					